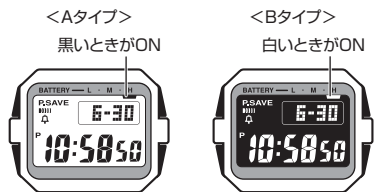


液晶表示について

Aタイプ液晶表示で説明しております。
Bタイプ（反転液晶）をお使いの方は、Aタイプで各インジケーター（マーク）がオンのときに黒く点灯するところが白く become と置き換えてご覧ください。



操作音について

モード切替時などに鳴る操作音のON/OFFを切り替えることができます。

■ 操作音の ON / OFF 設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

◎ ボタンを約3秒間押し
す

→ 確認音が鳴り、操作音のON/OFFが切り替わります。

※ 操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。

※ ◎ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。

※ 操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。



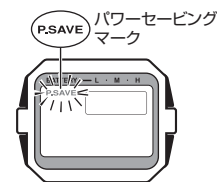
パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をONに設定してあります。

※ 時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

● スリープ状態になるには

- 表示スリープ
午後10時～午前6時の間、暗いところで本機を約1時間放置します。
→ 液晶表示が消え、パワーセービングマークが点滅します。アラーム・時報の報音は行ないます。
※ タイマーモード、ストップウォッチモードのときは、スリープ状態になりません。



● スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置か、いずれかのボタンを押すか、オートライト（「ライトを点灯させる」）のように傾けたりします。
※ 本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大2秒かかる場合があります。

● パワーセービング機能のON/OFF

パワーセービング機能を動かさなくするには「セットのしかた」をご覧ください。パワーセービング機能をOFFにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

● 機能スリープ

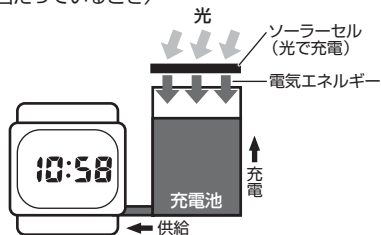
- 表示スリープのまま暗いところで6～7日間経過します。
→ パワーセービングマークが点滅から点灯にかわります。アラーム・時報の報音は行ないません。
※ 時計機能は正常に作動しています。

十分に光を当ててご使用ください

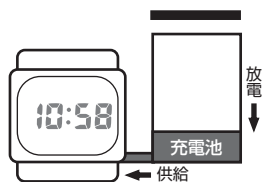
本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。安定してお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

● 光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



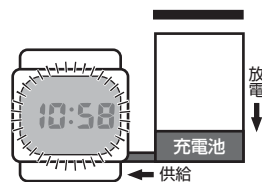
〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは充電電池の容量が減って機能が使えなくなります。

● ライト（表示用照明）をたくさん使うと

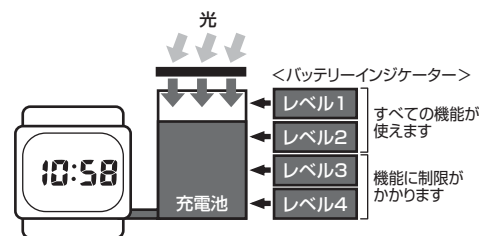
ライトを多用すると充電電池の容量は早く減ります。



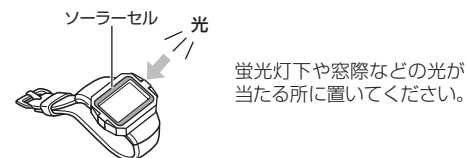
オートライト機能を使うと、頻繁にライトが点灯する状態になりますのでご注意ください。

● 時計に光が当たるようにしましょう

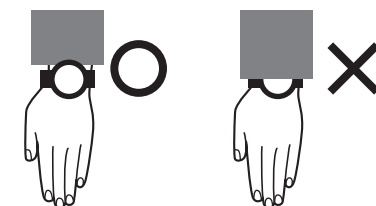
- 電池容量を示すバッテリーインジケーターがレベル3になると機能に制限がかかりますので、レベル1、レベル2を保つように光を当ててください。



- 腕から外したときは表示面（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



- 腕に付けているときはなるべく袖が表示面（ソーラーセル）にかからないように使用してください。



一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すことに、以下の順でモードが切り替わります。
 ※アラームモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード

(A) ← → (A)

(C) → (C)

★表示切替えについて
 (A) ボタンを押すことに「月・日」と「曜日」とが切り替わります。
 ※日付を表示させない設定にしているときは「月・日」は表示されず、「時・分・秒」のみ表示します。
 (A) ボタンを押すことに「時・分・秒」と「曜日・月・日」とが切り替わります（「曜日・月・日」表示のまま2～3分すると、自動的に「時・分・秒」表示に戻ります）。（日付表示設定のしかたについては「セットのしかた」参照）

★曜日の見方
 SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水 THU:木 FRI:金 SAT:土
 * バッテリーインジケータの見方については「バッテリーインジケータの見方」参照。

ワールドタイムモード

アラームモード

ストップウォッチモード

タイマーモード

電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
 光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
 安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると(レベル5)、メモリーされているデータや設定は消去されます。

●リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- ELバックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音
- タイマーのタイムアップ報音

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



●バッテリーインジケータの見方

	Aタイプ	Bタイプ (反転液晶)	
レベル1			すべての機能が使用可能
レベル2			すべての機能が使用可能
レベル3			EL点灯不可、アラーム・時報などの報音不可、タイマーのタイムアップ報音不可
レベル4			液晶表示不可、EL点灯不可、アラーム・時報などの報音不可、タイマーのタイムアップ報音不可
レベル5			時計機能停止(時計発振不可)

※時刻モードのときにレベル3になると、「LOW」と点滅表示します。

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケータが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※レベル5になっても再度充電を行なうことで使用できます。

※レベル5から充電したときは、レベル4になると表示が点灯しますので、時刻・カレンダーを合わせてください。ただし、レベル2またはレベル1になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

●充電必要サイン

レベル3や4の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。
 また、頻繁にリカバーマークが点灯する場合も電池残量が少なくなっていますので光を当てて充電してください。

●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。
 ● 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
 ● 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
 ● 直射日光が長く当たって、高温になる所
 なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

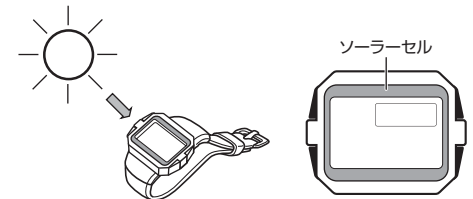


充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
 ※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますので、ご注意ください。

例) 時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても基本動作*に加え、下記の使用例で使用した場合に約13ヶ月動き続けます。

使用例

- ライト：1.5秒間/日
 - アラーム：10秒/日
 - 表示点灯：18時間/日
- なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

*基本動作とは、時計内部の時刻演算処理のことです。

〈1日動くのに必要な充電時間〉
※左記の条件で使用した場合

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約5分
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約24分
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約48分
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間		
	レベル5⇒レベル4	レベル3⇒レベル2	レベル2⇒レベル1
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約2時間	約33時間	約9時間
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約7時間	約167時間	約46時間
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約14時間	約340時間	約94時間
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約169時間	---	---

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作音やアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間または約2.5秒間のみとなります。
- 二次電池の残量がレベル4の状態になると、自動的にオートライトOFFになります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても点灯することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。
- ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。また、暗いときに時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

※点灯時間は約1.5秒間と約2.5秒間のいずれかを選ぶことができます（「ライト点灯時間の切替え」参照）。

■ ボタンを押して点灯させる

～手動点灯～

どのモードのときでも

⑧ ボタンを押します

⇒ ⑧ ボタンを押すとライトが点灯します。



※オートライトOFFのときも⑧ボタンを押すと点灯します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて点灯させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけでライトが点灯する便利なフルオートライト機能です。

※明るいときは、自動点灯しません。

準備：セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、⑧ボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



※オートライトONのとき、⑧ボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

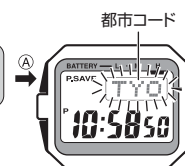
■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

⑨ ボタンを約2秒間押しします

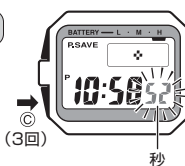
⇒ 都市コードが点滅します。



2. 「秒」を点滅させる

⑩ ボタンを3回押しします

⇒ 「秒」が点滅します。

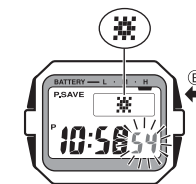


3. 点灯時間を選ぶ

⑧ ボタンを押します

⇒ ⑧ ボタンを押すごとに約1.5秒間と約2.5秒間が切り替わります。

- ※ ☆ マーク=約1.5秒間
- ※ ✱ マーク=約2.5秒間



4. セットを終わる

⑨ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **ⓐ** ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

■ご注意

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* セットについては「セットのしかた」参照。

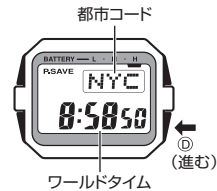
■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。

※ **ⓐ** ボタンを押し続けると早送ります。



■サマータイム (DST) について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON/OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、**ⓐ** ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

ⓐ ボタンを約2秒間押しします

→ **ⓐ** ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON/OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。

※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム（基本時刻）もサマータイムONになります。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴパゴ	ROM	+1	ローマ
HNL	-10	ホノルル	BER	+1	ベルリン
ANC	-9	アンカレジ	STO	+1	ストックホルム
YVR	-8	バンクーバー	ATH	+2	アテネ
LAX	-8	ロサンゼルス	CAI	+2	カイロ
YEA	-7	エドモントン	JRS	+2	エルサレム
DEN	-7	デンバー	MOW	+3	モスクワ
MEX	-6	メキシコシティ	JED	+3	ジェッダ
YWG	-6	ウィニペグ	THR	+3.5	テヘラン
CHI	-6	シカゴ	DXB	+4	ドバイ
MIA	-5	マイアミ	KBL	+4.5	カブール
YTO	-5	トロント	KHI	+5	カラチ
NYC	-5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	-4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
YHZ	-4	ハリファックス	RGN	+6.5	ヤンゴン
YYT	-3.5	セントジョンズ	BKK	+7	バンコク
RIO	-3	リオデジャネイロ	HKG	+8	香港
RAI	-1	ブライア	SEL	+9	ソウル
LIS	+0	リスボン	TYO	+9	東京
LON	+0	ロンドン	ADL	+9.5	アデレード
BCN	+1	バルセロナ	GUM	+10	グアム
MAD	+1	マドリード	SYD	+10	シドニー
PAR	+1	パリ	NOU	+11	ヌーメア
MIL	+1	ミラノ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2005年12月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **ⓐ** ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で60分までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

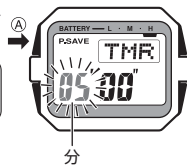
■タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

ⓐ ボタンを約2秒間押しします

→ 「分」が点滅します。



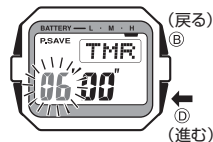
2. 点滅箇所をセットする

ⓐ または ⓑ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **ⓐ**・**ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送ります。

※ 1分単位で60分までセットできます。

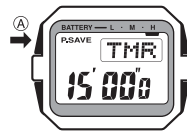


3. セットを終る

ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。



■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※計測は1/10秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 **ⓐ** ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、**ⓐ** ボタンでストップ後、もう一度 **ⓐ** ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **ⓐ** ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1 ~ AL4)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回音を繰り返します。

なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

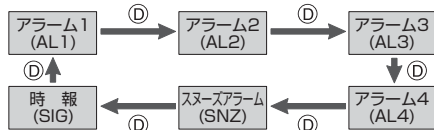
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。

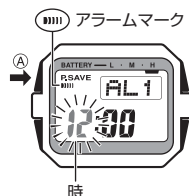


2. セット状態にする

ⓐ ボタンを約2秒間押します

→ 「時」が点滅します。

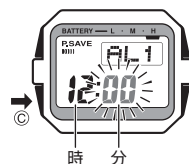
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。



3. セット箇所を選ぶ

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

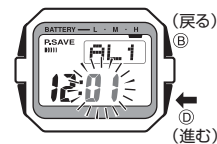


4. 点滅箇所をセットする

ⓐ または ⓑ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **ⓐ**・**ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順3~4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

5. セットを終わる

ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2~3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラームの ON / OFF 設定

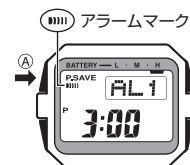
準備：アラームモードのとき、**ⓐ** ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに、アラームの ON / OFF が切り替わります。

※ アラームマークが点灯しているときに ON となり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>



<スヌーズアラーム表示>



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※ スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します (スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します)。

※ スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。

- スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
- スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
- 時刻モードでセット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードで **ⓐ** ボタンを押し続けると、押ししている間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時 (00 分のとき) に「ピッピッ」と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報の ON / OFF 設定

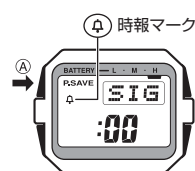
準備：アラームモードのとき、**ⓐ** ボタンを押して、時報表示を選びます。

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに、時報の ON / OFF が切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときに ON となり、時報が鳴ります。

<時報表示>



ストップウォッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **ⓐ** ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

● 通常計測

ⓐ → **ⓐ** → **ⓐ**
スタート ストップ リセット

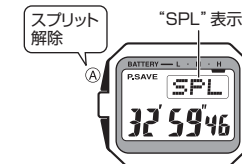
<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに **ⓐ** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測

ⓐ → **ⓐ** → **ⓐ** → **ⓐ** → **ⓐ**
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

<スプリット表示中>



■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

(スプリット/リセット)



★ 計測中に **ⓐ** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります ('SPL' 表示)。

※ スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★ 計測終了後 **ⓐ** ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

● 1・2 着同時計測

ⓐ → **ⓐ** → **ⓐ** → **ⓐ** → **ⓐ**
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域(都市)や時刻・カレンダー等を合わせることです。

※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

※パワーセービング機能のON/OFF設定も以下の操作で行ないます。

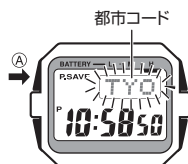
■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押しします

⇒都市コードが点滅します。



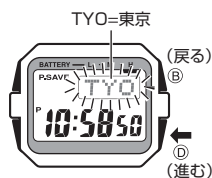
2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓔ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓔ ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域(都市)を選びます。

*「都市コード一覧」参照。

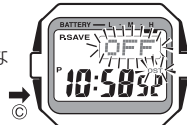
※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りします。



3. 「サマータイム設定」にする

Ⓒ ボタンを押します

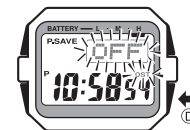
⇒サマータイムの設定になります。



4. サマータイムの設定を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



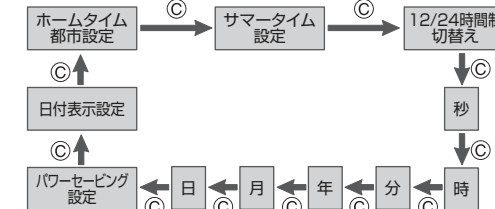
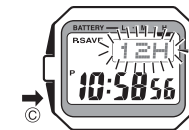
● OFF
サマータイムはOFFになります(通常時間)。

● ON
サマータイムはONになります(夏時間)。
※セット完了後、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

5. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

⇒ Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



6. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓔ ボタンを押します

⇒ Ⓓ または Ⓔ ボタンで点滅箇所をセットします。

a. 「12/24時間制切替え」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」が切り替わります。

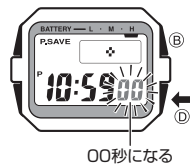


b. 「秒」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

※秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)

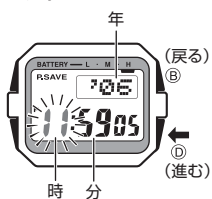
※秒が点滅しているときに Ⓔ ボタンを押すと、ライトの点灯時間を切り替えることができます(「ライト点灯時間の切替え」参照)。



c. 「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓔ ボタンを押すごとに戻ります。

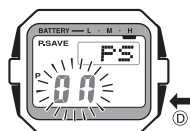
※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りができます。



d. 「パワーセービング設定」のとき

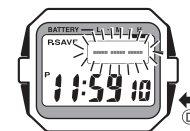
Ⓓ ボタンを押すごとにパワーセービング機能のON/OFFが切り替わります。

※パワーセービング機能をONにすると、セット完了後、パワーセービングマークが点灯します。



e. 「日付表示設定」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとに日付を「表示する」(月日を表示させます)と「表示しない」(「--」を表示させます)が切り替わります。



Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓔ ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前/午後(P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は'00(2000年)~'99(2099年)の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が出算されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。